



# 全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066  
 東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F  
 編集:全難聴事務局  
 電話:03(3225)5600  
 FAX:03(3354)0046  
 URL:<http://www.zennancho.or.jp>  
 E-Mail:[zennacho@zennancho.or.jp](mailto:zennacho@zennancho.or.jp)

## ⇧ 平成28年全難聴理事会 (5月20日、28日)

5月20日、平成27年度事業報告・決算の監査が実施され、適正な事業実施が確認されました。それを受けて同日に臨時理事会が開催され、審議の結果提案通り承認されました。

また、5月28日に平成28年度第1回理事会を開催し、事業報告にある課題検討を行いました。

熊本地震対策については、支援資金に関することなど具体的な方針が決められました。その他、来月に迫っている国際難聴者会議への対応、人工内耳相談会に関する状況説明がなされました。

今年の全難聴福祉大会は奈良県で開催されますが、平成29年度以降の開催に関するについても話し合われました。その詳細は後日発表します。

平成28年度通常総会は、6月4日に戸山サンライズにおいて加盟協会代表者(正会員)の参加をいただき開催いたします。

本総会では理事・監事の任期満了にともなう改選を行います。立候補を5月19日に締切った結果理事13名、監事2名の届けがあり、理事定数15名~20名とするため、理事会にて専門部長6名の推薦を決定しました。これにより、正会員による信認投票を実施します。

## ⇧ 熊本地震省庁向け緊急要望 (5月2日)

全難聴を含む日本障害フォーラム(JDF)13団体は、熊本地震に関する省庁緊急要望を行いました。

多数の住民が被災しているが、この中には多くの障害者が含まれており、これら障害者への緊急の支援と配慮を求める要望書を提出しました。

要望書は全難聴ホームページに掲載してありますが、要旨は以下です。

- 障害者を含む要支援者の実情把握を
- 上記支援に障害者団体の活用を。
- 避難生活での一層の情報保障を。
- 障害者支援事業所への支援を。
- 移動手段の確保を。



○仮設住宅への配慮を

○今後の復興にあたり、インクルーシブな地域社会の構築を。

要望行動に参加した新谷理事長は、厚労省に対し、「障害者手帳の保持者の開示はあったが要支援者名簿の開示がない。在宅の被災者支援のためにも名簿開示が必要」と述べ、内閣府では「補聴器電池など受取人を明確にしている支援物資は郵便・宅配で受付拒否をすることなく、配送を受け付けてほしい」と要望しました。

JDF はこれに先立ち、JDF 災害総合支援本部の設置を決定し、各構成団体の対策本部や活動を結ぶネットワークの構築、報道、寄付金等の窓口機能を果たすこと。また、実質的な現地支援活動についても具体的な決定を行いました。

## 【全難聴熊本震災対応経緯】

(先月記載以降)

4月29日「聞き取りシート熊本」にて被災者の体調、要望など確認活動を開始

5月02日 情報提供センターに補聴器電池到着。支援活動と共に配布開始。

5月02日 山口県から手話通訳・要約筆記者各1名配置。8日まで。

5月10日 要約筆記者5名・難聴者2名・知人の8名の2チームで大津方面の避難所7カ所訪問

5月10日 被害状況調査について。聞き取りシート郵送後訪問を検討。

5月13日 奈良県からの支援物資到着。電池とともに配布。

5月17日 松山市からの支援タオル到着。

5月の連休をはさんだ時期には、「鹿児島県中途失聴者難聴者協会」「佐賀県難聴者・中途失聴者協会」「宮崎県中途失聴難聴者協会」「大分県難聴者協会」「北九州市難聴者・中途失聴者協会」「福岡県難聴者・中途失聴者協会」の各難聴者協会の方々が支援に参加されました。

九州ブロックの絆の強さを感じます。

もちろん、他県からの支援も多数いただいています。義援金も数多く寄せられています。

ほんの一例ですが、奈良県からの筆談ボード、松山市からのタオルも被災地支援に役立っています。



## 📌 全難聴要約筆記部 研修会（5月3日）

要約筆記部が毎年行っている全難聴要約筆記部研修会が、三重県四日市市総合会館で開催されました。

要約筆記部員5名プラス三重県協会田代会長がオブザーバーとして参加されました。研修会では要約筆記に係る諸問題に関する討議が行なわれました。今年度は、全要研の三宅理事長をお招きし、「要約筆記事業にかかわるうえでの資質向上のため」というテーマで学習会がありました。また諸問題では、シート、ログの取り扱いに関する実質的な討議と全難聴としての意見の整理が行なわれました。

毎年各地で開催されている要約筆記事業研修会は、平成29年1月8日、9日に東京で開催することを確認しました。詳細は後日発表します。

## 📌 新国立競技場整備事業のユニバーサルデザインワークショップ （5月17日）

新国立競技場整備事業のユニバーサルデザインワークショップが、開催されています。

大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所の3つの共同企業体によるワークショップで、新国立競技場を多くの人が利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した施設として実現するため、当事者の意見を求めるという目的で開催されています。

新谷理事長が参加しました。本ワークショップに関しては、その内容について外部に漏洩しないように誓約書の提出が求められているもので、詳細は明らかにすることはできませんが、新谷理事長の印象としては、意見を非常によく聞いて、対応してくれているとのことでした。

今回のワークショップが4回目ですが、ここまでは施設に関わるものについてでしたが、今後はスクリーンの文字表示など情報システムに関するワークショップが立ち上がる予定です。

### 厚生労働省障害者自立支援機器等開発促進事業（テクノエイド協会）

厚生労働省から実施団体と任命された公益財団法人テクノエイド協会が、障害者自立支援機器等の開発機関を募集しています。

障害者自立支援機器の開発において、事業化が困難であったり、モニター評価がすすんでいないなど、実用的製品化にいたっていない機器、製品について助成を行うものです。シーズ・ニーズマッチング交流会などで連携をとっている全難聴に助成対象の案内について要望が来ています。

- 補助率 1/2
- 1テーマあたり1億円以内
- 開発期間は最長平成29年2月末まで



## ⇧ 理事及び専門部長の動き（5/1～5/31）

- 5月2日 全社協協議員総会（新谷）
- 5月2日 省庁向け震災対応要望（新谷）
- 5月3日 要約筆記部学習会（宇田川、藤谷、黒田、宿谷、田代）
- 5月10日 四団体連絡会（新谷）
- 5月17日 新国立競技場整備事業UDワークショップ第4回（新谷）
- 5月17日 オリパラ鉄道輸送作業部会（第4回）（小川）
- 5月20日 障害者リハビリテーション協会決算理事会（新谷）
- 5月20日 監査（齋藤、田代、佐野）
- 5月20日 臨時理事会（理事）
- 5月24日 JDF 5月幹事会（新谷）
- 5月25日 第1回ウェブアクセシビリティ基盤委員会（小川）
- 5月25日 警察庁面談（小川）
- 5月27日 JD第5回総会（新谷）
- 5月27日 聴力障害者情報文化センター評議員会（新谷）
- 5月28日 第1回理事会（理事、専門部長）
- 5月29日 国際部会議（新谷、佐野、瀬谷、永井）
- 5月29日 手話研修センター 評議員会（荒川）
- 5月30日 CS 障害者放送統一機構総会（新谷）

## ⇧ 事務局報告

- 5月11日 よしもとクリエイティブ・エージェンシー来所
- 5月20日 臨時理事会
- 5月21日 総会議案書発送
- 5月25日 ソナール来所
- 5月28日 第1回理事会
- 5月29日 国際部会議
- 5月30日 全難聴だより No. 96 発行予定

### 《予定》

- 6月4日 全難聴通常総会
- 6月8日～12日 全国ろうあ者大会 in 徳島
- 6月10日 テクノエイド協会面談
- 6月10日 吉本興業字幕新喜劇
- 6月17日 日本補聴器販売店協会総会
- 6月18日～19日 全国要約筆記問題研究集会 in 大阪
- 6月22日～26日 国際難聴者会議
- 6月23日 全聴情協施設大会
- 6月29日 機関誌「難聴者の明日」発送
- 6月30日 全難聴だより No. 97 発行

### 熊本県協会報告：日時 2016年5月27日

#### ○避難所巡回について

南阿蘇村は危険があり避難所巡回が実施できていない。

道路状況等も落ち着いてきたので、来週要約筆記者とともに支援行動を計画中

#### ○聞き取り調査状況

49名全員調査するにはまだ時間がかかる。6月中になるか。

#### ○総会日程

情報提供センターの部屋が利用できるようになったので6月19日（日）開催予定